

連作絵本 想像という現実～2

人違い



東郷 潤

電車の駅のホームに、笑顔の人が立っています。



あの人が笑顔なのは、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っているからだって、想像しました。



あの人、心の中で、
あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、
あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、
あなたを馬鹿にして笑っている…







ふん！
俺を馬鹿にして
笑ったからさ



なんであなたは、
私の彼を殺したの？
何の関係も無いのに！

え？ 結婚式？



何を言ってるの？
私と彼とは、もうすぐ
結婚式だったのよ。
結婚式の話をして、
笑っていただけなのに





ねえ、君。
人違いで、誰かをやっつけたって、
幸福になんかなれないよ！



君はどんな想像でも出来るんだから、
想像と現実は、ちゃんと区別してくださいね！

あとがき ー絵本「人違い」

この絵本は、連作絵本「想像という現実」の2作目という位置づけで執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010